



国民春闘共闘

第45号

2018年6月4日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

18春闘・第5回進ちょく状況調査

要求提出率 68.7%、回答引き出し率 71.4%

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は6月1日、加盟全単組を対象とした「第5回春闘進ちょく状況調査」を実施し、その集計を19単産（2856組合）からの報告としてまとめました。

1. 要求提出状況

6月1日現在、別表の19単産から、交渉単位数で2856組合の報告が寄せられました。このうち要求書提出組合は、1948組合（68.7%）となっています。前年最終（2017/6/2）の1671組合（59.0%）から改善し、2016年最終（2016/7/6）の1987組合（65.1%）の水準に回復しています。

要求提出率100%の単産は、合同繊維、検数労連、全損保、郵政ユニオンとなっています。ついで、全倉運が97.4%、民放労連82.7%、化学一般労連82.9%、出版労連80.0%となっています。前年同期比では、福祉保育労が+92組合、17.5%改善となっているのをはじめ、全農協労連、建設関連、自交総連、全印総連などで前年実績を上回っています。

2. ストライキ権確立状況

調査組合（調査中の建設関連労連・自交総連を除く）の44.2%にあたる1155組合でストライキ権の確立が報告されています。

全交渉単位でストライキ権を確立しているのは、検数労連、全損保、郵政ユニオンとなっています。ついで、福祉保育労の78.3%、JMITUの60.3%、合同繊維の60.0%、映演労連の53.3%、日本医労連の50.1%と続いています。

3. 回答引き出し状況

要求提出組合（1948組合）の71.4%にあたる1391組合が回答を引き出しています（全調査組合に対する比率は、48.7%）。前回集計（945組合57.2%）から大きく回答引き出し報告が増えていますが、引き出し数・率ともにほぼ前年・2016年水準となっており、回答を引き出していない組合への支援の点で課題が残っています。

単産ごとの状況を見ると、検数労連、郵政ユニオンが 100%の引き出し率、次いで、全印総連、民放労連、出版労連が 90%以上の引き出し率、JMITU、化学一般労連、生協労連、日本医労連が 8 割以上の引き出し率となっています。

4. 回答内容

回答内容では、＜定昇制度のある＞交渉単位 773 組合で見ると、24.3%にあたる 188 組合が「定昇+ベア」を獲得、約 7.5 割にあたる 584 組合が「定昇確保」となっています。前年同期も「定昇+ベア」獲得が 2 割、「定昇確保」が 8 割となっており、前年と同様の回答状況となっています。

一方で、＜定昇制度のない＞交渉単位 293 組合では、有額回答を引き出した組合が 213 組合となった一方で、ゼロ回答にとどまった組合は 9 組合となっています。前年同期と比べ、ゼロ回答組合数大幅に減少しており、厳しい状況の中でも押し返しつつある状況となっています。

5. 平均賃上げ額・率とベアスアップ

回答額提示のあった 883 組合での単純平均(1 組合あたりの平均)賃上げ額は 5,075 円で、前年(4,689 円)を 386 円上回っています。賃上げ率は、489 組合平均で 2.18%で、前年同期(1.99%)を 0.19 割合上回っています。ベア相当額の単純平均は、146 組合の平均で 1,635 円となっています。回答金額は前年を超えていますが、要求水準には及ばない厳しい内容となっています。

6. ストライキ実施状況

JMITU100 組合、日本医労連 97 組合、福祉保育労 52 組合、映演労連15 組合、全印総連 10 組合、民放労連5組合、建交労3組合、出版労連 3 組合、生協労連 2 組合、化学一般労連 1 組合、郵政ユニオンの289組合から、のべ 369回のストライキの実施報告が寄せられています。

安倍 9 条改憲・労働法制改悪 NO !
賃上げと安定雇用で地域活性化 !